

薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2021年
11月2日
第124号

レモン (ミカン科)

資材庫横の果樹園で果実を付けている木が見られます。インド原産で地中海沿岸、アメリカで栽培され、日本でも暖地で栽培されます。果皮がクエンヒ（枸橼皮）という生薬になるほか、そこから压榨して得た精油からレモン油となります。どちらも日本薬局方には収載されていませんが、レモン油は厚生労働省が発行する『医薬品添加物規格』に収載されています。クエンヒは日本の漢方医学では使用されませんが、中医学では理気薬に分類されて使用されています。レモンの果肉は、もちろん食用です。余談ですが、よく「レモン〇個分」と表記される商品を見かけますが、これはビタミンcの量を計算しやすくするために（レモン100gに100mgを含む）で、決してレモンにビタミンcが多く含まれているという意味ではありません。

カキノキ (カキノキ科)

今、植物区では、秋の光をいっぱい浴びて輝いているカキノキの実が目にとまります。中国原産で、古代に日本に渡来して改良され、果樹として多くの品種が栽培されています。花は初夏に見られます。果実は秋に熟しますが、高冷地では十分熟す前に冬が訪れるため、たとえ甘柿の品種であっても甘くなりません。果実の萼（蒂：へた）が、シテイ（柿蒂）という生薬となり、漢方製剤の柿蒂湯に配合される他、日本の民間薬として吃逆（しゃっくり）を止めるために用います。葉は茶外茶としても使用されます。柿渋は、かつて渋紙や塗料などに利用されていましたが、近年では抗菌を目的に噴霧剤としても使用されています。材は緻密で美しいことから、家具や器具などに利用されます。中医学では、カキノキの根を清熱涼血を目的に使用するそうです。